

学校だより

NO. 467

令和5年5月31日



品濃

〈横浜の教育がめざす人づくり〉

自ら学び 社会とつながり ともに未来を創る人

〈学校教育目標〉

大好き自分 大好きみんな ともに創る品濃の子

・知 生きて働く知 ・徳 豊かな心 ・体 健やかな体

・公 公共心と社会参画 ・開 未来を拓く志

横浜市立品濃小学校 電話 824-0651 FAX 826-2183

URL <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/shinano/>

この日のために、できること

副校長 枝元 由佳子

先日「品濃フレンドシップフェスティバル2023」が開催されました。多くの方にご来校いただき、ありがとうございました。4月に新学年、新クラスとしてスタートしたばかりですが、どの学年も、心を一つにしてまとまりのある演技をつくり上げることができていました・・・この日のために、次のような過程を見てきました。

- ・「〇〇室の鍵を貸してください!」「〇〇の練習をするんです!」中休みに、元気な声が職員室に響き渡ります。声や表情から、団体演技練習に主体的に取り組む姿が見られました。
- ・校庭では、各学年の団体演技の曲が流れてきます。子どもたちが熱心に練習をしています。日に日に上達していきます。練習したあとは、今日のふり返しをしている学年もありました。今日の自分を明日の自分につなげて高めていく様子が見られました。
- ・一方で、担任の先生たちは4月からこつこつと準備を進めていました。タブレット端末を使って演技の見本の動画をとっています。ICT機器を上手に活用して、子どもたちが何度でも見返したり、見たい部分を繰り返し見たりしながら練習することができるようになりました。
- ・さらに、PTA役員の方と当日の打ち合わせについて事前に行いました。役員の方、委員の方、地域コーディネーターの方には、当日の受付や見回りなどご協力いただきました。運動会の参加賞の手配などの準備も進めていただきました。



本番の子どもたちや職員の姿からは、このような背後にある努力や周りの方たちの協力まで見えて胸が熱くなりました。今までの過程があったからこそ、本番での達成感を味わっているようでした。「この日のために、できること」をいろいろな人がそれぞれの立場で考え、準備を進めて、「この日」を迎えられたのだと感じました。

今年度は、昨年度同様、1・2・3年生と4・5・6年生の2部構成で行いましたが、参観者人数の制限はなくなりましたので、たくさんの方に品濃の子どもたちのよさを見ていただくことができました。温かい応援とご声援をありがとうございました。